

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット  
 情報公開の方法  以下のURLで公開する  倫理委員会のホームページでも公開を希望する  
 URL <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/research/>

承認番号	4232
研究課題名	AI（人工知能）技術を活用した骨粗鬆症性新鮮椎体骨折の画像診断支援システムの開発に関する研究
研究の意義・目的	AI（人工知能：Artificial Intelligence）技術を、超高齢社会の重要課題である新鮮骨粗鬆症性椎体骨折（Osteoporotic Vertebral Fracture:OVF）の画像診断能の向上に応用する事で、OVFの治療成績向上を達成し健康寿命増進に寄与することを目標にしています。新鮮椎体骨折に対しては椎体変形が無いかあってもごく軽微なものが少なくなく、その診断に難渋することが大きな問題となっています。急性期骨折において骨折診断の遅れは適切な治療開始の遅れに直結していますので、過去に行ったOVF多施設前向き研究の症例画像データを用いて、AI技術を活用した新鮮OVFの画像診断システムの開発に関する研究を立案しました。
研究を行う期間	承認後 ～ 2024年3月31日
研究対象者の範囲	2005年4月1日～2018年3月31日に大阪市立大学ならびに東京医科歯科大学が主導した臨床研究【①『骨粗鬆症性椎体骨折の治療成績不良をもたらす因子の解明と効果的かつ効率的な治療法の確立 -多施設共同前向き研究-』（平成 17-19 年度厚労省科研 長寿科学総合研究事業）、②『骨粗鬆症性椎体骨折MRI 経時的変化の解明2012-2015』（自費研究））、③「予後不良因子を有する骨粗鬆症性新鮮椎体骨折への効果的で効率的な低侵襲外科的治療法の確立-多施設前向き介入研究-」（平成27-29年度独立行政法人日本医療研究開発機構 慢性の痛み解明研究事業）、④「骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存的初期治療の指針策定—硬性装具と軟性装具の比較—」のランダム化比較試験（平成26-28年度厚生労働科学研究委託事業）の参加されました患者さまが対象です
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受けて研究します。 <input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本データ</li> <li>・単純X線</li> <li>・MRI</li> <li>・臨床情報</li> </ul>
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学医学部 整形外科 講師 星野雅俊
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学（研究責任者： 整形外科 講師 星野雅俊）、東京医科歯科大学（研究責任者：整形外科 講師 猪瀬弘之）
代表施設のURL	<a href="http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/">http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/</a>
研究の成果を公表する方法	学会発表、論文発表
研究に協力したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院整形外科学教室 講師・星野雅俊 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 TEL:06-6645-3850 FAX 06-6646-6260